

平成22年度横浜市道路局運営方針期末振り返り

基本目標

将来にわたって、横浜が元気で、市民が安全で安心して生活できるまちを目指して、「チーム道路」で取り組みます！

主な事業・取組の期末振り返りの状況

① 国際化と経済の活性化に向け、活力ある豊かなまちへ！

<道路ネットワークの形成等>

【主な事業・取組】

- ①-1 高速道路(横浜環状道路)の整備
- ①-2 幹線道路の整備
- ①-3 駅まで15分道路整備

【指標】

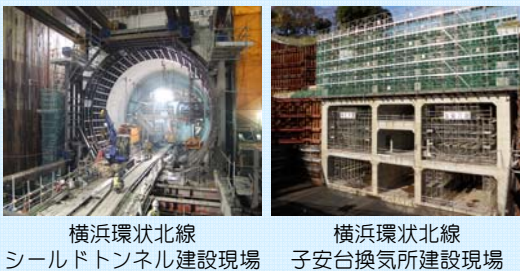
- ⇒ 北線:本線トンネル工事の推進
南線:用地取得の推進
北西線:都市計画決定
- ⇒ 3路線3地区 1.6km完成
- ⇒ 1.5km完成

【達成状況】

- ⇒ 北線:本線トンネル工事の推進
南線:用地取得の推進
北西線:都市計画決定(3月)
- ⇒ 3路線3地区 1.6km完成
- ⇒ 約1.6km完成

【具体的な取組状況】

①-1 高速道路(横浜環状道路)の整備



①-3 駅まで15分道路整備



国道1号原宿交差点が完成

～県内渋滞ワースト1の解消へ～

国道1号と環状4号線との交差点(原宿交差点)は交通が集中し、著しい混雑状況にありました。
このため、国道1号原宿交差点の立体化を進め、平成22年12月に全線開通しました。



開通1ヵ月後の交通状況とその効果

- ① 国道1号と環状4号の通過時間(所要時間)が大幅に短縮
- ② 並行道路の交通量が減少し、国道へ転換
- ③ 周辺の生活道路の交通量が減少

①-2 幹線道路の整備



② 市民の生活の充実を図り、ぬくもりのある安全・安心なまちへ！

<安全で快適な歩行空間整備、地域交通サービス、防災対策、維持管理等>

【主な事業・取組】

- ②-1 バリアフリー歩行空間整備
- ②-2 あんしんカラーベルト事業
- ②-3 交通安全啓発
- ②-4 地域交通サポート事業
- ②-5 流域対策
- ②-6 日常の維持管理

【指標】

- ⇒ バリアフリー化整備延長:2.9km完成
- ⇒ 36km完成
- ⇒ 交通事故件数:前年比5%減
- ⇒ 新たな実証運行の実施
- ⇒ 雨水貯留施設整備:2箇所
- ⇒ 道路・河川パトロールの計画的実施

【達成状況】

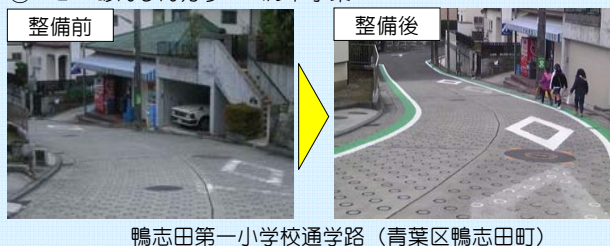
- ⇒ 約3.1km完成
- ⇒ 36km完成
- ⇒ 前年比4%減
- ⇒ 新たな運行を開始(1地区)
- ⇒ 1箇所完成
- ⇒ 道路パトロール:効率的なルート選定により、計画的に実施
- ⇒ 河川パトロール:点検結果を基に、設計・修繕を計画的に実施

【具体的な取組状況】

②-1 バリアフリー歩行空間整備



②-2 あんしんカラーベルト事業



②-3 交通安全啓発



②-4 地域交通サポート事業

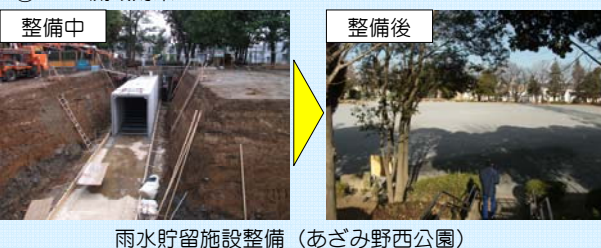


道路冠水現場で市民を救出!!

道路冠水が想定される箇所に道路冠水警報装置の設置を進めています。
昨年12月の大雨では、警報装置の作動で駆けつけた応急業者により車内に閉じ込められた市民を救出することができました。



②-5 流域対策



②-6 日常の維持管理



主な事業・取組の期末振り返りの状況

③ 道路・河川における環境対策を進め、地球にやさしいまちへ！

<地球温暖化対策の推進>

【主な事業・取組】

③-1 道路の温暖化対策

③-2 水と緑のネットワーク

【指標】

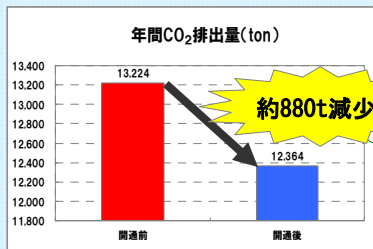
⇒ 幹線道路の整備: 1.6km完成 (渋滞解消により、自動車の走行速度が向上しCO₂排出量を削減) (再掲) 等
⇒ 河川環境整備: 4河川

【達成状況】

⇒ 幹線道路の整備: 1.6km完成 (再掲)
⇒ 河川環境整備: 4河川完成

【具体的な取組状況】

③-1 道路の温暖化対策



森林換算: 約83ha
※横浜スタジアム約32個分に相当!

川崎町田線(佐江戸地区)の4車線化(平成22年11月)による年間CO₂排出量の削減効果

③-2 水と緑のネットワーク

整備前



整備後



河川環境整備(プロムナード(黒須田川))

④ 今ある施設をかしこく使うまちへ！

<既存施設等の有効活用>

【主な事業・取組】

④-1 計画的な施設管理

④-2 施設の有効活用・財源確保

【指標】

⇒ 3橋の補修事業の完了
⇒ 9,000万円の収入確保

【達成状況】

⇒ 3橋の補修事業の完了
⇒ 14,490万円の収入確保

【具体的な取組状況】

④-1 計画的な施設管理

補修前



補修後



大山跨線橋の補修(戸塚区)

補修前



補修後



新川向橋の補修(都筑区・港北区)

④-2 施設の有効活用・財源確保



高架下の利用
(長沼大橋(栄区))



道路施設への広告掲出
(大船駅)

⑤ 現場目線で、市民とともに喜びを実感し、共有できる職場づくり！

【主な事業・取組】

⑤-1 積極的な情報提供

⑤-2 ハマロードサポーター／水辺愛護会

⑤-3 市民満足度の向上への取組

⑤-4 ワークライフバランスの推進

【指標】

⇒ 事業説明会の実施(適宜)

⇒ 活動の充実

⇒ 迅速かつ適切な要望対応

⇒ 休暇取得率の向上と定時退庁日の実践

【達成状況】

⇒ 都市計画道路の見直し説明会の実施
道路ふれあいフェスタ、子どもアドベンチャー等の開催
⇒ ハマロードサポーター:新たに3区で交流会の実施
水辺愛護会:水辺愛護会通信の創刊
⇒ 市民の声や土木事務所への要望に対し、適切に対応
⇒ 休暇取得率の向上(平成21年度13日→平成22年度13.5日)
定時退庁日の実践

【具体的な取組状況】

⑤-1 積極的な情報提供



都市計画道路の見直し説明会の様子



道路ふれあいフェスタの様子



子どもアドベンチャーの様子

⑤-2 ハマロードサポーター／水辺愛護会



ハマロードサポーターの活動の様子



水辺愛護会の活動の様子

⑤-3 市民満足度の向上への取組

・市民の声で寄せられる要望のうち、約3割は交通・道路関連
・土木事務所へ直接寄せられる要望は年間約6万件!



カーブミラー補修の様子

APEC期間中の放置自転車ゼロを達成

11月に開催されたAPEC首脳会議に伴う交通安全対策として、区や県警、関係団体等と連携を図り、放置自転車防止の指導・啓発や撤去活動に取り組んだ結果、開催期間中の放置自転車「ゼロ」を達成することができました。



放置自転車対策の様子

⑤-4 ワークライフバランスの推進



道路局ワークライフバランスセミナー(1月)

〒231-0017
横浜市中区港町1-1
横浜道路局総務課
TEL 671-2762
FAX 651-6527
do-homepage@city.yokohama.jp

